

山梨県歯科医師連盟 連盟ニュース

第 20 号

発行 山梨県歯科医師連盟
山梨県甲府市大手1-4-1
TEL055-252-6481
発行人 内藤敏雄
編集人 守屋直木

山梨県歯科医師連盟機関紙

新年度の抱負



山梨県歯科医師連盟
会長 内藤 敏雄

平成22年度が始まりました。当執行部の任期もあと一年となりました。昨年一年間を振り返ってみますと、日本の政界はまさに激動の年でありました。

8月30日の衆議院総選挙で民主党の圧勝・自民党の大惨敗により、戦後初の本格的政権交代が行われました。予想されていたこととはいえ、実際にその時になると戸惑うこともありました。従来、連盟の対応としては、自民党政権が長く続いてきたため、自民党とだけ付き合っていたら良かったのですが、今回の政権交代を機に、今後の連盟の在り方自体を見直してい

く必要があると思います。長期的な在り方はみんなでじっくり考えていくこととして、短期的には民主党及び民主党政権に軸足を置くことは仕方ないと思います。これは、従来から、時の与党に軸足を置くという連盟の原則に照らしても何ら矛盾しいと考えます。

そのような状況の中で日歯連盟は、昨年の総選挙後にいち早く民主党政権とパイプを作り、ロビー活動を行い、今回の診療報酬改定では2.09%のアップで、33年ぶりに医科を上回る結果を出し、更にレセプトオンライン一律義務化の撤廃などを実現しました。これはまさに連盟活動の成果であります。

また、日歯連盟は、来年度の重点目標として税制問題への対応。とりわけ事業税の課税反対を訴えるとしており、県歯連盟も日歯連盟と歩調を合わせ、県選出の民主党国会議員にもデンタルミーティングなどを通じて要望していく予定です。

また、県歯連盟としては中央とは別に、県内の政治情勢も考慮していかなければなりません。県議会では、自民党系会派が多数を占めており、

また、昨年10月には山梨県議会自民党歯科医療議員連盟も立ち上がり、県政レベルでは自民党県連との連携は不可欠であります。

来る7月の参議院議員選挙におきましては、比例区では東京都歯科医師会・同歯科医師連盟会員である、西村正美先生が民主党公認として出馬することになりました。日歯連盟は2月の評議員会で全面的に支援していくことを決定しました。本県におきましても今月後援会を設立し、活動を始めています。

今回の選挙は、3年前の石井選挙の延長線上にあるものと私はとらえています。

前回の参院選では、あの逆風の中で我々は石井みどり先生を国会へ送りました。これにより、政界に日歯及び日歯連盟の力を示すことができました。今回も、我々の仲間と言える開業医でもある西村正美先生を、与党議員として国会へ送り込むことは、2年後の診療報酬改定と介護保険改定に向けて歯科医師会の影響力を強くすることにもなると思っております。また、これを機会に、連盟を退会された先生や未入会の先生方も改めて連盟の必要性・連盟の今後の在り方などを説明していきたいと考えています。

以上、残り一年の抱負を簡単に書きましたが、会員の先生方におかれましては、今後も連盟の活動にご支援・ご協力の程をお願い申し上げます。

西村まさみ後援会

本年7月に予定されている第22回参議院比例代表選挙について、日本歯科医師連盟では、民主党公認を得て出馬する日歯連盟会員の西村まさみ氏への支援を、2月19日開催の第109回臨時評議員会において決定しました。3月には「西村まさみ中央後援会」が設置され、西村氏は、全国を回って活動しています。

この日歯連盟の動きを受け、「西村まさみ山梨県後援会」を設置し、4月1日に県選挙管理委員会に届出致しました。今後の後援会活動に、ご支援ご協力下さいますようお願い申し上げます。



西村 まさみ
S38.10.20 生
所属 東京都歯科医師連盟

日本歯科大学歯学部卒業。愛育歯科診療所(東京都中野区)副院長を経て、まさみデンタルクリニック開設。中野区立北原小学校歯科代表校医、中野区障害児(者)診療スマイル歯科診療所医局長、東京都国民健康保険診療報酬審査委員会審査委員として活躍。現在、社団法人東京都中野区歯科医師会理事(社会保険担当)

西村まさみ氏を励ます会

5月29日(土)午後6時

アビオ甲府

本館3階「孔雀の間」

山梨県歯科医師連盟デンタルミーティング

開催される

平成22年3月6日(土) 甲府・談露館にて、山梨県歯科医師連盟デンタルミーティングが開催された。

当日は、民主党の小沢鋭仁衆議院議員(代理)、後藤斎衆議院議員、坂口岳洋衆議院議員、奥石東参議院議員、米長晴信参議院議員のご臨席を賜り、一瀬明山歯連盟理事長の司会のもと進行した。

依田竹雄山歯連盟副会長の開会に続き、内藤敏雄山歯連盟会長より、まず、国会会期中の多忙にもかかわらずご出席をいただいた国会議員の先生方にお礼が述べられた。三塚憲二県歯科医師会会長(日歯連盟副会長)より、昨年8月の政権交代以来、約6ヶ月間で我々の訴えてきたレセプトオンライン化の問題・税制の問題等、目に見える形で改善しつつあることに対して感謝が述べられた。また、これからも国民に良質・安心・安全な歯科医療を提供するために、国会議員の先生方と政策協議を進めていきたいと挨拶された。



デンタルミーティングの様子
(平成22年3月6日(土)甲府・談露館)

当日出席の国会議員からは、奥石東参議院議員は「政権という出番を与えていただいたので、国民のために何ができるかではなくて何をしなければいけないかということに汗をかいていきたい」と述べられた。後藤斎衆議院議員は「今日のデンタルミーティングを通じてより良い共通理解のもと、融合し強化し進化すると信じている」。米長晴信参議院議員は「国会にいかにか皆様の声を反映させるかに力を注ぎたい」。坂口岳洋衆議院議員は「国民の生活が第一を標榜して昨年勝った。国民の生活を守る・健康を守るため政権安定が必要である」。小沢鋭仁衆議院議員代理・桜井英雄秘書は「コンクリートから人へのスローガンのもと、命を大切に政治を実現していく」と述べられた。

その後、「デンタルミーティング」が歯科が医療崩壊を救う」と題し、三塚憲二先生より日歯連盟副会長・山歯会長の立場から具体的に、①社会保障費の財源の確保と恒久的な安定を図る ②口腔保健法(仮称)の整備 ③医科歯科格差の是正 ④租税特別措置法等の存続 ⑤歯科医師の資質の向上と需給対策について、資料に基づき説明された。また、国政、県政の歯科医療に関する現状・問題点・今後政策協議すべき課題等について問題提起された。

これに対し、奥石東参議院議員より、「8020運動、健康長寿社会を目指

す成長戦略の第3の道、新戦略3K。景気を良くし、健康で安心して暮らせる世の中。環境も考える。また、3つの元気を取り戻したい。子供を元気に、地方を元気に、地球の元気を取り戻したい。政権を担当し6ヶ月だが、一歩前に出たとの評価をいただいた。これからも国民生活が第一のスローガンのもと、汗をかいていきたい」と述べられた。

閉会は、角野賢造山歯連盟副会長が本日のお礼と更なる発展を述べられ、散会となった。

天空快潤

依田 竹雄

昨年の八月、衆議院総選挙が実施され、予想された事とは言え、あまりの大差により民主党の大勝利となり、政権交代が実現した。

現在四月下旬。七ヶ月余り経過し、その後遺症という新たな問題が噴出し、これからの日本の行く末を憂慮しているのは、全国民の一致するところである。政治と金の問題・普天間の基地問題はその筆頭であり、説明責任は少しも果たされず、基地問題に関しては迷走状態に陥り、解決の糸口さえ見えない有様であり、国際的信用も失墜し、日米同盟にも少なからず影響を与えてある。いざれにしても日本丸は、民主党を中心とした連立政権に、その命運を託したわけである。近い将来、良い方向に前進して行くのではと、淡い期待を持って見守る必要も一方であるのではないかと考える。さて、私達の歯科界はどうであろう

平成22年度連盟会費 口座振替のお知らせ

5月21日(金)にご指定の口座から引落させていただきます。

山歯連盟会費	8,000
西村まさみ後援会費	1,000
日歯連盟会費	23,000
合計	¥32,000

か。相変わらず厳しい状況であり、この先、明るい話題とかニュースは本当に少ない。

これが悲しい現実である。その中で、先の診療報酬の2.09%のアップ改定・レセプトオンライン化の事実上の撤廃・事業税の非課税・特措法の存続等は、形に出て来たプラス材料である。まさに政権政党との迅速な協議の積み重ねた努力が報われた結果であり、これは素直に評価されるべきである。今後もしっかりとした理論構築の基に、様々な場面での交渉や広報活動を行うなど、地道な行動力が望まれるところである。

七月には参議院選挙が実施される。紆余曲折はあったが、支援候補も決定し、選挙活動真つ盛りである。

私達は何が出来ようか。唯一言える事は、国政に送り出すよう一致団結して活動していく事に尽きる。これ以上も以下もなく、歯科界の真の力が試される事であり、その結果次第で存在意義も示される。世の中とは、そういうものである。会員として踏ん張りどころである。底力が発揮される事を期待したい。